

大阪口腔インプラント研修セミナー 第15期 アドバンスコースの案内
公益社団法人 日本口腔インプラント学会
専修医を目指したケースプレゼンテーション試験受験者対象

大阪口腔インプラント研究会
会長 施設長 阪本 貴司

公益社団法人 日本口腔インプラント学会の専修医を取得するためには、インプラント1症例を発表し、ケースプレゼンテーション試験を受けて、口頭試問で合格する必要があります。

当アドバンスセミナーは、1期～28期生の受講修了者および大阪口腔インプラント研究会会員を対象とした、ケースプレゼンテーション試験の準備コースです。

参加希望者は別紙の申込書からお申し込みください。

記

日時 第1回 症例の選択の検討など
2022年6月12日（日）午後からの予定
会場は大阪国際会議場 会議室です。
（申し込み人数多数の場合は午前から開始します。）
午前から開始の場合には昼食のお弁当を準備します。
開催時間やスケジュールは後日、参加者の先生宛にFAXにて案内します。

第2回 口頭試問の対策・模擬口頭試問ほか
2022年11月27日（日）午後からの予定
（申し込み人数多数の場合は午前から開始します。）
午前から開始の場合には昼食のお弁当を準備します。
会場は大阪国際会議場 会議室
開始時間や発表スケジュールは後日、FAXにて各先生宛てに案内します。

会場 大阪国際会議場 会議室
大阪市北区中之島 5-3-51 TEL 06-4803-5555

参加費 ケースプレゼンテーション受験者 110.000 円（消費税含む）
再受験者 55.000 円（消費税含む）
聴講参加のみ 11.000 円（消費税含む）

参加費振込先 三菱東京UFJ銀行 堂島支店 普通預金 口座番号 3670814
大阪口腔インプラント研修センター 小室 暁（こむろ あきら）
※参加費の入金確認後、申し込み完了といたします。

アドバンスセミナー15期に申し込みます

(申し込み期限は5月31日です)

F A X 返信先 事務局 06-6744-7735

氏名 _____ セミナー _____ 期卒 または
_____ 年度受講

大阪口腔インプラント研究会 (会員・非会員)

連絡先電話番号 TEL _____

F A X _____

参加費の入金日 _____

(F A Xにて詳細を連絡しますので見やすい字で記載ください)

- ケースプレゼンテーション試験受験者として参加 (110.000 円)
- 再受験者として参加 (55.000 円)
- 聴講のみの参加 (11.000 円)

発表される先生は以下を記載下さい

○ 発表タイトル

(現在考えている演題名で結構です)

○ 発表者氏名 _____
(発表者、先生ご自身の名前です)

○ 所属 _____
(大阪口腔インプラント研究会 他)

○ 発表形式 ・ Windows ・ Mac (自身のPCをご持参下さい)

受験される先生へは以下の資料がそろっているか確認をお願いします
(ケープレ試験を受けられる先生)

1) 6月12日は症例概要を見せてください。

複数症例から選択したい場合には、複数症例を持参ください。

症例を拝見し、試験症例としての資料がそろっているか(下記の資料参照)試験症例として問題ないかなどアドバイスします。

発表内容についてのアドバイスなどは質疑応答の中でさせていただきます。

以下のケースプレゼンテーション試験に必要な資料をすべて提示してください。

必要であれば、カルテやすべてのエックス線写真などの患者の概要が分かる資料も持参ください。

なお以下の資料が揃っていなければ受験できません。

資料に不足がある場合にはすべてが揃っている症例に差し替えてください。

または資料が準備できた後に申し込みください。

- ・ 術前口腔内写真(5枚組み写真・欠損部が映っているもの)
- ・ 術前パノラマエックス線写真(顎関節を含む)
- ・ 上部構造装着直後の口腔内写真(5枚組み写真・インプラント上部構造が映っているもの)
- ・ 上部構造装着2年以上経過後の口腔内写真(5枚組み写真・上部構造が映っているもの)
- ・ 上部構造装着2年以上経過後のパノラマエックス線写真(顎関節を含む)

※ 術前の口腔内写真に歯が残っているものは不適です。

※ 2年間の経過途中で他の部位の治療介入があるものも不適です。

インプラント部を含めて全顎の治療が終了した時点から2年の良好な経過が必要です。
(軽度な充填治療などは適応症例になる可能性もあります。)

6月12日はパワーポイントにてプレゼンテーションを行って下さい。

プロジェクターは用意していますがPCはご自身のものをお持ち下さい。

Mac使用の先生は、接続備品も持参ください。

なお、受験する症例についての相談は

小室 暁先生へ下記のメールアドレスで受け付けています。

akomuro@m4.kcn.ne.jp (当研究会会員に限ります)

天然歯との連結症例、骨補填剤使用症例、適用外使用や未承認材料を用いた症例、経過不良症例、天然歯の保存に対する考慮不足、などの症例は、試験症例として認められませんので、学会HPから最新の発表の形式や書式・制度の概要をダウンロードして熟読下さい。

学会のケースプレゼンテーション試験は、インプラントの埋入技術や知識だけを問う試験ではありません。以下のような知識と考え方が問われます。

1) インプラント治療への考え方

自己満足の治療ではなく患者重視の方針で安全に進めているか。

2) 正しい医療倫理観を持っているか。

3) 診療において医療安全管理を行っているか。

4) 正しい感染予防対策が実施できているか。

2) 治療前の説明や残存歯も含めた術前検査

歯科全般の適切な検査と正しい診断ができているか。

3) 歯周病や根管治療、義歯、口腔外科など歯科全般の知識が理解できているか。

4) 行った治療に対する責任と術後の管理（メンテナンス）など